

生 体 の 科 学

第1巻 (1号~6号)

総

目

次

昭和24, 25年

巻 頭

形態学の進むみち(小川鼎三).....	1
基礎と臨床との二人三脚(小林芳人).....	64
生命の科学者の使命(兒玉桂三).....	120
窮乏時に於ける基礎医学の研究(坂本嶋嶺).....	176
吾等はすべてを失つてはいない(熊谷 洋).....	224
研究の協力と総合(杉 靖三郎).....	280

論 述

中枢神経系の電気現象について(内菌耕二).....	2
余等の「ワッセルマン」反應変法(中村敬三).....	7
心電図の單極誘導(小溝協三).....	12
貯蔵蛋白と固定蛋白(吉村壽人).....	65
汗腺排泄管の細胞学的研究(伊藤俊夫, 他).....	66
副腎皮質ホルモンの生理学的檢定其の檢定目標に就いて(中尾健, 他).....	73
抗ヒスタミン剤に関する研究(第1報)(中村敬三, 他).....	121
冷血動物心臓の新陳代謝測定装置(橋本虎之, 他).....	126
濾紙分配クロマトグラフ法によるアミノ酸定性分析の生物材料への應用(柴谷篤弘).....	177
人眼網膜の感光物質(水谷 豊).....	182
蛋白欠乏性貧血の再検討(平出順吉郎).....	225
糖尿病に関する実験病理学的研究(1)(岡本耕造).....	230
正常抗体の遺傳に関する研究(松永 英).....	4-1
物價代謝特に疲労測定方法としての値係数について(西風 修).....	4-7
人体温の周期性について(崎野滋樹).....	265
糖尿病に関する実験病理学的研究(2)(岡本耕造).....	265
抗ヒスタミン剤に関する研究(中村敬三, 他).....	277

展 望

D. W. Bronk 博士の業績(K.Y. 生).....	16
血漿蛋白質の化学的特性(吉川春壽).....	19
人間の右心探索法の進歩と肺循環生理学の新知見(松田幸次郎).....	23
Insulin の生理作用(島菌順雄).....	82
微量蛋白質の檢出法 “TBP 反應,” と “Pyrogen,” (浦口健二).....	86
ウイルスと遺傳子(守山英雄).....	130
骨格筋の短縮機轉について(名取礼二).....	187
筋攣縮に於ける活動熱と短縮熱(A. V. Hill).....	191
唾液腺内分泌の生理(緒方知三郎).....	238
最近の発生生理学特にオルガナイザーの問題について(藤井 隆).....	281

報 告

反復興奮周期の搖ぎについて(萩原生長).....	27
肝吸虫宿主としての家鴨および第二中間宿主としてのライ魚(小宮義孝, 他).....	31
上頸部神経節剔出による迷走神経背側核の変化(陳米).....	33
迷走神経核と頸部交感神経との関係(沖中重雄).....	35
Donaggio 反應の標準法(佐藤徳郎).....	37
2, 3の針孔効果について(山極一三).....	39
色刺激に於ける強度期間曲線(花岡利昌).....	42

運動による 2, 3 血液及び尿中成分の変化(1)乳酸 及び焦性葡萄糖の変化(茂手木皓喜)	91
血小板及び血液凝固機構に関する電子顕微鏡的研究(脇坂行一, 他)	93
ラットの尿及び糞中の Alkyl-resorcin の定量方法 の検索と其の実験成績(大橋茂, 他)	97
小麦蕁の有効成分に就いて(柴田勝博, 他)	101
血圧調節神経における活動電流(佐藤昌康)	104
電気刺激によるバビンスキー反射に就いて(山本宗三, 他)	107
脳下垂体に於ける微細血管分布(小川義雄, 他)	140
膠原繊維と銀繊維(新井恒人)	143
汗腺のグリコゲンに関する知見補遺(伊東俊夫, 他)	146
成人に於ける終神経の観察(佐野 豊)	149
人小腸液酵素作用の研究(森 益太)	152
生物学的筋肉種属鑑別の一新法(小野一雄)	156
ツベルクリン過敏症に於ける蛋白代謝様式(大野 乾)	158
神経の表面電荷に関する実験(望月政司)	160
新媒現象から見た動物膜の水透過(山本 清)	164
フオスファターゼの組織化学的検査法について(清水信夫, 他)	198
Cohn 氏法に依る正常日本人血清の蛋白分屑について(近新五郎)	204
結核症に於ける血清カルシウムと血糖との相互関係(蒲生 勝)	206
ニコチンによる骨格筋刺激の脳波へ及ぼす影響(田中英彦)	210
腎機能に及ぼす電撃作用(伊藤秀三郎, 他)	213
発声筋の機能(勝木保次)	243
洞房漏斗についての研究(内山孝一, 他)	247
波型曲線研究の一考察(第 1 報)(齋藤金之助)	251
感染論より見た生体の反応(西岡久壽彌)	253
赤血球沈降反応の物理化学的解析第 1 報(長井良夫)	291
1-(P-Sulfamylphenyl)-semicardazibe の生物学的研究について(武田徳晴, 他)	297
炎症浸潤と線維—特に膠原線維の態度について(新井恒人)	299
クロロマイセチンの嫌気性菌に及ぼす影響(太田清彦)	301
頸動脈球よりの産生物質(眞鍋茂良)	303
溶血系に及ぼす正負コロイドイオンの影響について(宮本晴夫)	306
私の考案したレコーディングレバー(岩本守弘)	260
P-Chlorbenzolsulfonamid 誘導体の合成研究(太田清彦) (1)	262

実 験 室

オツシログラフの観察装置(若林 勳)	116
カルジオタコグラフ(松田幸次郎)	216
電気機械曲線並びに和及差曲線を描記する方法に就いて(松本政雄, 他)	258
CR 結合増幅器の曲線の補正(江橋節郎)	167

そ の 他

ルイセンコの遺傳学説について(八杉竜一)	44
神経の律動現象並びに酸素代謝(要旨)	49
D. W. Bronk (東 竜太郎訳)	53
治療薬の効力と毒力(小林芳人)	61
生 理 学(杉 靖三郎)	61
科学研究者の自由について(暉峻義等)	26
ヴィールス学の現況(川喜田愛郎)	109
ショウガとカラシ(山田 肇)	221
臨床生理(山本 清)	230
ビタミン B 群とビタミン B ₁ (島菌順雄)	288
学会雑誌の現状(熊谷洋, 他)	263
第 8 回生機学談話会講演	136